

2025年3月期 第3四半期 決算説明会

2025年2月3日

代表取締役社長
谷本 秀夫



- 1** 2025年3月期 第3四半期 決算概要
- 2** 2025年3月期 業績予想
- 3** 企業価値向上に向けた取り組み

1 2025年3月期 第3四半期 決算概要

2 2025年3月期 業績予想

3 企業価値向上に向けた取り組み

注: 2025年3月期より、「その他の事業」に含まれるエネルギーソリューション事業及び「本社部門損益等」に含まれるエネルギー関連出資に伴う持分法損益等を「ソリューションセグメント」の「その他」として業績管理することとしました。これに伴い、同条件での比較を行うため、2024年3月期の業績についても同様の管理区分にて表示しています。

2025年3月期 第3四半期累計 実績(1)



(単位:百万円)

	2024年3月期 第3四半期累計	2025年3月期 第3四半期累計	増減金額	増減率
売上高	1,492,672	1,492,055	-617	-0.0%
営業利益	79,844 (5.3%)	12,275 (0.8%)	-67,569	-84.6%
税引前利益	125,638 (8.4%)	50,459 (3.4%)	-75,179	-59.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	90,366 (6.1%)	18,331 (1.2%)	-72,035	-79.7%

平均為替
レート

米ドル
ユーロ

143円
155円

153円
165円

注:()内の数字は売上高比率

- 売上高: 汎用データセンターやスマートフォン、自動車市場向け部品の需要は低迷したものの、円安の影響もあり、ほぼ横ばい
- 利益 : 生産設備の稼働率低下や人件費等の増加、及び一時損失の計上により減益

1. 営業利益・税引前利益：約▲430億円（減損損失等）

半導体部品有機材料事業（コアコンポーネント）

AI関連市場向けは急拡大した反面、当社の主力製品である汎用データセンター向けFCBGAの需要低迷の長期化に伴う収益性悪化の影響により、有形固定資産の減損損失等を計上

2. 親会社の所有者に帰属する四半期利益：約▲480億円

- ① 減損損失等 : 約▲300億円（上記1. の税効果後）
- ② 海外子会社における繰延税金資産の取り崩し等 : 約▲180億円（主にKAVX*）

* Kyocera AVX Components Corporation

(単位:百万円)

	2024年3月期 第3四半期累計	2025年3月期 第3四半期累計	増減金額	増減率
設備投資額	105,242 (7.1%)	101,748 (6.8%)	-3,494	-3.3%
有形固定資産 減価償却費	82,231 (5.5%)	85,848 (5.8%)	3,617	4.4%
研究開発費	77,481 (5.2%)	87,197 (5.8%)	9,716	12.5%

注:()内の数字は売上高比率

- 設備投資額: ファインセラミック部品の増産投資が一巡し、減少
- 減価償却費: 前期以前に実施した設備投資の影響により増加
- 研究開発費: 通信インフラ機器関連事業における増加が主因

2025年3月期 第3四半期累計 セグメント別売上高



(単位:百万円)

セグメント別 売上高	2024年3月期 第3四半期累計		2025年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
コアコンポーネント	432,152	29.0%	423,693	28.4%	-8,459	-2.0%
産業・車載用部品	167,216	11.2%	173,338	11.6%	6,122	3.7%
半導体関連部品	242,676	16.3%	225,735	15.1%	-16,941	-7.0%
その他	22,260	1.5%	24,620	1.7%	2,360	10.6%
電子部品	262,628	17.6%	266,301	17.8%	3,673	1.4%
ソリューション	810,835	54.3%	816,114	54.7%	5,279	0.7%
機械工具	235,406	15.8%	231,796	15.5%	-3,610	-1.5%
ドキュメントソリューション	325,934	21.8%	352,061	23.6%	26,127	8.0%
コミュニケーション	161,656	10.8%	158,827	10.7%	-2,829	-1.8%
その他	87,839	5.9%	73,430	4.9%	-14,409	-16.4%
その他の事業	13,768	0.9%	12,721	0.9%	-1,047	-7.6%
調整及び消去	-26,711	-1.8%	-26,774	-1.8%	-63	—
売上高	1,492,672	100.0%	1,492,055	100.0%	-617	-0.0%

2025年3月期 第3四半期累計 セグメント別利益

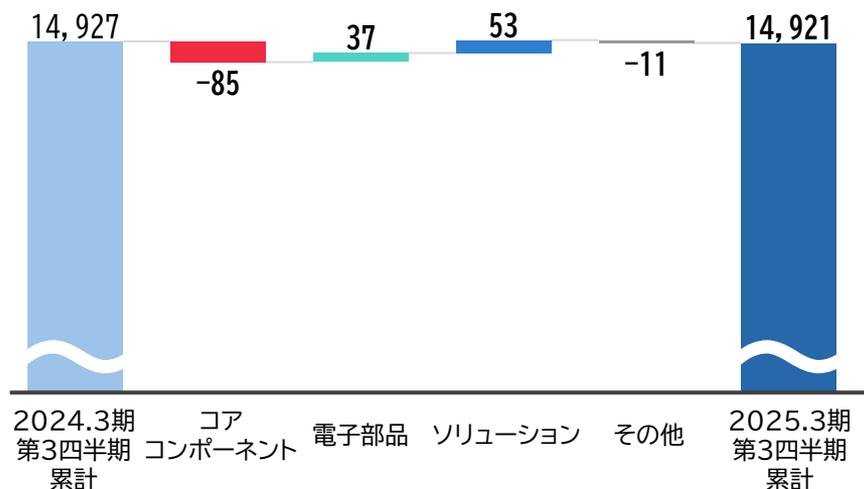


(単位:百万円)

セグメント別 利益	2024年3月期 第3四半期累計		2025年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
コアコンポーネント	45,466	10.5%	-13,327	—	-58,793	—
産業・車載用部品	18,873	11.3%	18,799	10.8%	-74	-0.4%
半導体関連部品	26,388	10.9%	-33,251	—	-59,639	—
その他	205	0.9%	1,125	4.6%	920	448.8%
電子部品	13,033	5.0%	-1,411	—	-14,444	—
ソリューション	45,802	5.6%	51,205	6.3%	5,403	11.8%
機械工具	12,742	5.4%	11,804	5.1%	-938	-7.4%
ドキュメントソリューション	28,653	8.8%	32,189	9.1%	3,536	12.3%
コミュニケーション	2,356	1.5%	4,713	3.0%	2,357	100.0%
その他	2,051	2.3%	2,499	3.4%	448	21.8%
その他の事業	-30,340	—	-35,165	—	-4,825	—
事業利益 計	73,961	5.0%	1,302	0.1%	-72,659	-98.2%
本社部門損益等	51,677	—	49,157	—	-2,520	-4.9%
税引前利益	125,638	8.4%	50,459	3.4%	-75,179	-59.8%

売上高

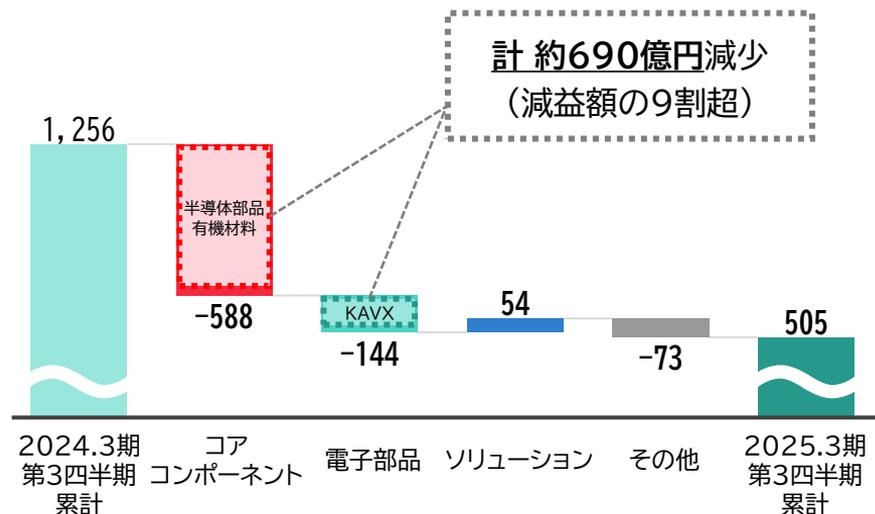
(億円)



電子部品及びソリューションは前期を上回ったものの、コアコンポーネントが微減となったことから、前年同期とほぼ横ばい

税引前利益

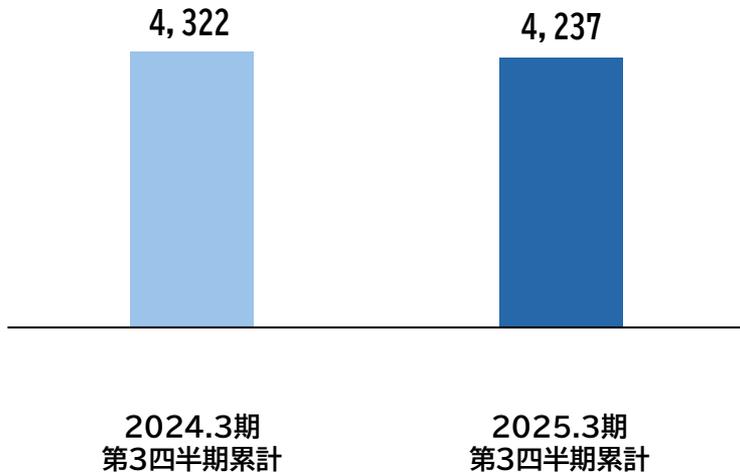
(億円)



半導体部品有機材料事業及びKAVXの両事業の損失を主因に減益

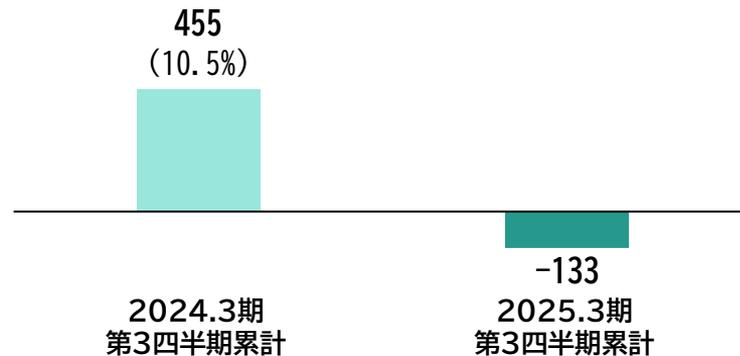
売上高

(億円)



事業利益(利益率)

(億円)



業績概況

<vs 2024.3期 第3四半期累計 -2.0%>

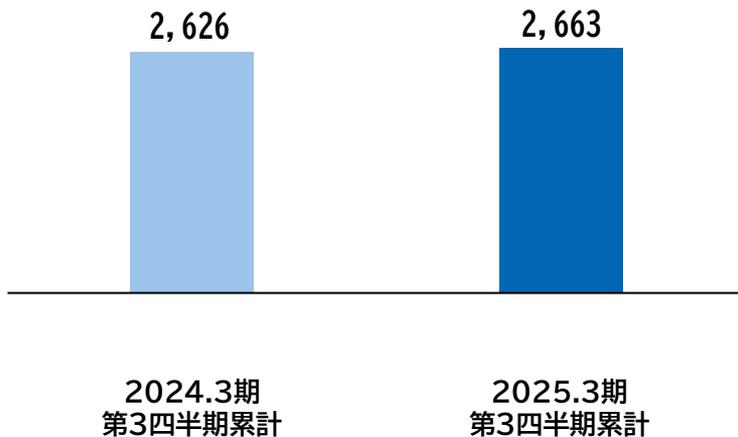
- 半導体製造装置向けファインセラミック部品等の販売は増加したものの、汎用データセンター向けFCBGAの販売減少により、微減

<vs 2024.3期 第3四半期累計 -588億円>

- 売上減少及び減価償却費等の固定費増加に加え、半導体部品有機材料事業における有形固定資産の減損損失等約430億円の計上により、大幅に減少

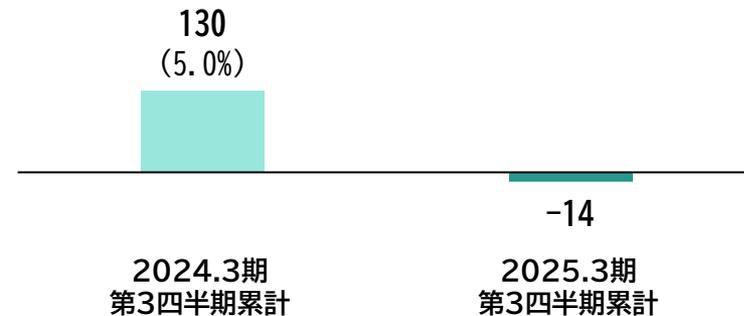
売上高

(億円)



事業利益(利益率)

(億円)



業績概況

<vs 2024.3期 第3四半期累計 +1.4%>

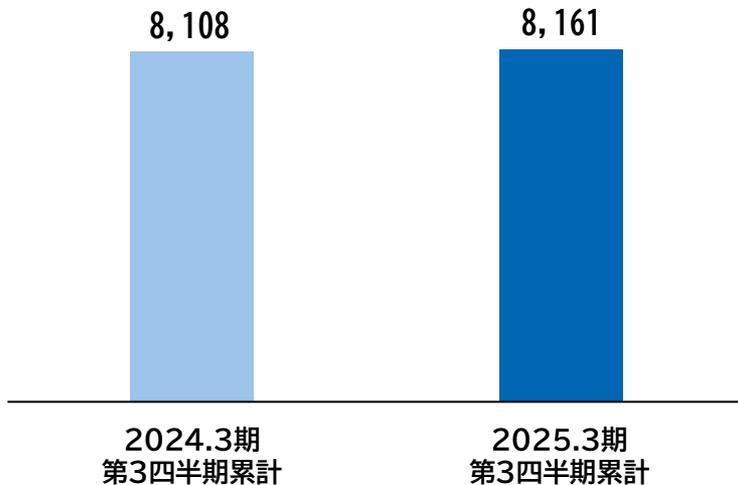
- 欧州自動車市場低迷により当社製品の需要が減少したものの、情報通信及び産業機器市場向けコンデンサや水晶部品等の販売増加に加え、円安効果によりほぼ横ばい

<vs 2024.3期 第3四半期累計 -144億円>

- KAVXグループにおける新工場の稼働率低迷に伴う原価率の上昇及び人件費等の増加により、大幅に減少

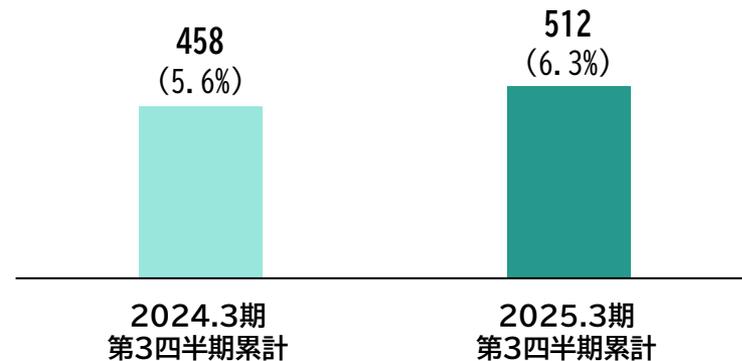
売上高

(億円)



事業利益(利益率)

(億円)



業績概況

<vs 2024.3期 第3四半期累計 +0.7%>

- ドキュメントソリューション事業が円安効果により増収となったことから、他の事業の減収を相殺し、ほぼ横ばい

<vs 2024.3期 第3四半期累計 +11.8%>

- 主にドキュメントソリューション事業の増収に加え、コミュニケーション事業の収益性改善も寄与し、増加

1 2025年3月期 第3四半期 決算概要

2 2025年3月期 業績予想

3 企業価値向上に向けた取り組み

注: 2025年3月期より、「その他の事業」に含まれるエネルギーソリューション事業及び「本社部門損益等」に含まれるエネルギー関連出資に伴う持分法損益等を「ソリューションセグメント」の「その他」として業績管理することとしました。これに伴い、同条件での比較を行うため、2024年3月期の業績についても同様の管理区分にて表示しています。

2025年3月期 業績予想(1)



(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期予想		増減金額	
		前回予想 (10月公表)	今回予想 (2月公表)	前期比	前回予想比
売上高	2,004,221	2,020,000	2,000,000	-4,221	-20,000
営業利益	92,923 (4.6%)	68,000 (3.4%)	21,000 (1.1%)	-71,923	-47,000
税引前利益	136,143 (6.8%)	100,000 (5.0%)	57,000 (2.9%)	-79,143	-43,000
親会社の所有者に 帰属する当期利益	101,074 (5.0%)	71,000 (3.5%)	20,000 (1.0%)	-81,074	-51,000
EPS(円)	71.58	50.40	14.20		
平均為替 レート	米ドル ユーロ	145円 157円	145円 155円	150円 160円	

注1:()内の数字は売上高比率
 注2: 2025年3月期予想のEPSについて、
 前回予想は2025年3月期上期、
 今回予想は同第3四半期累計
 の期中平均株式数を用いて算出

- 売上高: ソリューションセグメントにおける市況回復が前回予想の想定を下回ったため下方修正
- 利益 : 減収に加え、減損損失や繰延税金資産の取り崩しによる税金費用等の一時損失の計上により下方修正

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期予想		増減金額	
		前回予想 (10月公表)	今回予想 (2月公表)	前期比	前回予想比
設備投資額	161,684 (8.1%)	160,000 (7.9%)	150,000 (7.5%)	-11,684	-10,000
有形固定資産 減価償却費	111,724 (5.6%)	120,000 (5.9%)	110,000 (5.5%)	-1,724	-10,000
研究開発費	104,290 (5.2%)	120,000 (5.9%)	120,000 (6.0%)	15,710	—

注:()内の数字は売上高比率

コアコンポーネントセグメントにおける投資抑制により設備投資額・減価償却費を減額

2025年3月期 セグメント別売上高予想



(単位:百万円)

事業セグメント別 売上高	2024年3月期		2025年3月期予想				増減金額	
	金額	構成比	前回予想 (10月公表)		今回予想 (2月公表)		前期比	前回予想比
			金額	構成比	金額	構成比		
コアコンポーネント	569,145	28.4%	559,000	27.7%	556,000	27.8%	-13,145	-3,000
産業・車載用部品	224,574	11.2%	234,000	11.6%	231,000	11.6%	6,426	-3,000
半導体関連部品	314,649	15.7%	291,000	14.4%	291,000	14.5%	-23,649	—
その他	29,922	1.5%	34,000	1.7%	34,000	1.7%	4,078	—
電子部品	352,277	17.6%	350,000	17.3%	351,000	17.6%	-1,277	1,000
ソリューション	1,101,625	54.9%	1,132,700	56.1%	1,110,000	55.5%	8,375	-22,700
機械工具	310,740	15.5%	313,700	15.5%	306,000	15.3%	-4,740	-7,700
ドキュメントソリューション	452,162	22.5%	480,000	23.8%	482,000	24.1%	29,838	2,000
コミュニケーション	224,403	11.2%	229,000	11.3%	223,000	11.2%	-1,403	-6,000
その他	114,320	5.7%	110,000	5.5%	99,000	4.9%	-15,320	-11,000
その他の事業	17,680	0.9%	15,300	0.7%	17,000	0.8%	-680	1,700
調整及び消去	-36,506	-1.8%	-37,000	-1.8%	-34,000	-1.7%	2,506	3,000
売上高	2,004,221	100.0%	2,020,000	100.0%	2,000,000	100.0%	-4,221	-20,000

2025年3月期 セグメント別利益予想



(単位:百万円)

事業セグメント別 利益	2024年3月期		2025年3月期予想				増減金額	
	金額	売上高比	前回予想 (10月公表) 金額	売上高比	今回予想 (2月公表) 金額	売上高比	前期比	前回予想比
コアコンポーネント	57,226	10.1%	38,000	6.8%	-4,500	—	-61,726	-42,500
産業・車載用部品	26,409	11.8%	25,000	10.7%	24,000	10.4%	-2,409	-1,000
半導体関連部品	30,375	9.7%	12,000	4.1%	-30,000	—	-60,375	-42,000*
その他	442	1.5%	1,000	2.9%	1,500	4.4%	1,058	500
電子部品	6,521	1.9%	1,000	0.3%	-1,500	—	-8,021	-2,500
ソリューション	69,841	6.3%	80,000	7.1%	72,000	6.5%	2,159	-8,000
機械工具	16,837	5.4%	18,700	6.0%	14,700	4.8%	-2,137	-4,000
ドキュメントソリューション	43,940	9.7%	48,000	10.0%	47,400	9.8%	3,460	-600
コミュニケーション	6,964	3.1%	7,600	3.3%	8,300	3.7%	1,336	700
その他	2,100	1.8%	5,700	5.2%	1,600	1.6%	-500	-4,100
その他の事業	-41,049	—	-50,000	—	-49,000	—	-7,951	1,000
事業利益 計	92,539	4.6%	69,000	3.4%	17,000	0.9%	-75,539	-52,000
本社部門損益等	43,604	—	31,000	—	40,000	—	-3,604	9,000
税引前利益	136,143	6.8%	100,000	5.0%	57,000	2.9%	-79,143	-43,000

構造改革を加速させ、両事業ともに来期2026年3月期の黒字化を目指す

コアコンポーネントセグメント 半導体部品有機材料(有機パッケージ)事業

「積極投資・拡大路線」から「利益重視の選択と集中」へ事業戦略を見直し

当社の主力である汎用データセンター向けFCBGAの需要回復が当面期待できない

→ 当第3四半期に約430億円の減損損失等を計上し、今期から来期にかけて以下の構造改革に着手

<主な構造改革>

- 既存製品の増産に係る設備投資の停止
- 製品ミックスの改善（収益性の高い高多層FCBGAへの集中）
- 鹿児島川内工場における新棟稼働の延伸
- 人員の削減（有機パッケージ事業として400名規模を配置転換）

電子部品セグメント KAVXグループ

来期以降の需要回復に備え、セグメント一丸となった「生産体制の最適化」に注力

MLCC: 京セラからの技術支援により計画通り歩留り改善等が進捗

タンタル: AI・SSD市場の拡大を受け、ポリマータンタル品の受注は拡大傾向
タイ工場製品の認定が進み、2025年4月より増産を開始

1 2025年3月期 第3四半期 決算概要

2 2025年3月期 業績予想

3 企業価値向上に向けた取り組み

2023年5月公表の中期経営計画にて掲げた経営方針・課題

経営の 基本方針

経営理念「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」

➡ **持続的な売上拡大と高い収益性の実現**を目指す

中期的な 経営課題

ROEの持続的向上とPBRの改善

事業戦略の実行

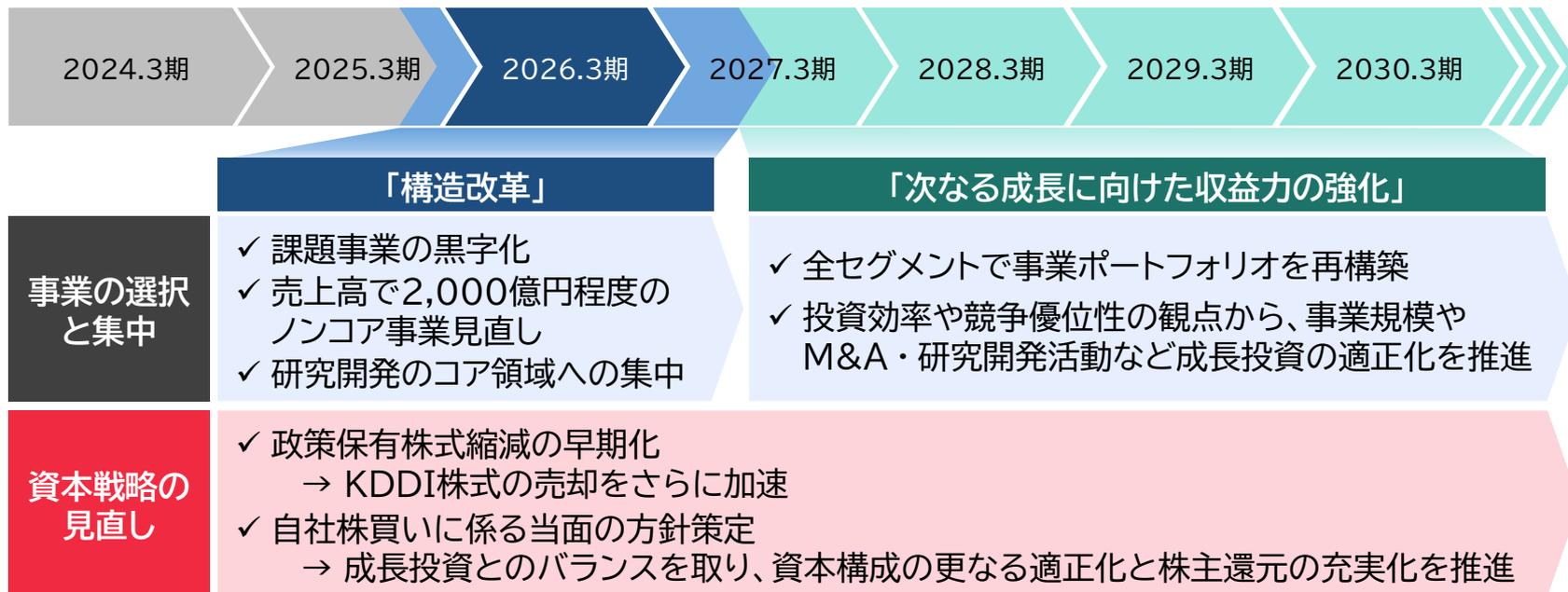
- ✓ 競争優位分野への **戦略的投資**
(半導体関連部品、コンデンサ、タイミングデバイス等)
- ✓ ソリューション事業における **既存事業拡大と構造改革の推進** など

経営基盤の強化

- ✓ **資本戦略**
(キャピタル・アロケーション明確化、自社株買い、政策保有株式の縮減等)
- ✓ **コーポレート・ガバナンスの取り組み** など
(業績連動型株式報酬の導入等)

- **事業戦略面**：低シェアの事業において市況変化に追従できていない
 - **資本戦略面**：政策保有株式の縮減等において一層のスピード感が必要
- ➡ **現在の株価の水準についても当社としては抜本的な対策が不可欠と判断**

事業戦略と資本戦略の両面において企業変革を推進し まずは早期のPBR1倍以上の実現を目指す



前回の公表内容からKDDI株式の売却期間を短縮

前回決算発表時の公表内容
(2024年10月)

KDDI株式の売却を
実施する方針に変更

今後5年間で保有株数の1/3程度を
売却するとともに、
以降も継続的な縮減を検討

(M&A等の資金需要に対して売却株数増/時期
短縮も随時検討)



今回の公表内容
(2025年2月)

KDDI株式の売却を
さらに加速化

今後2年間で保有株数の1/3程度
(現在の株価水準で合計5,000億円規模)
を売却するとともに、
以降も継続的に縮減

詳細については決定次第、今後の四半期毎の
決算発表等で適宜公表予定

2026年3月期

有機パッケージ事業をはじめ設備投資の抑制を図るとともに、資本効率の向上及び株主還元の充実を図るため、

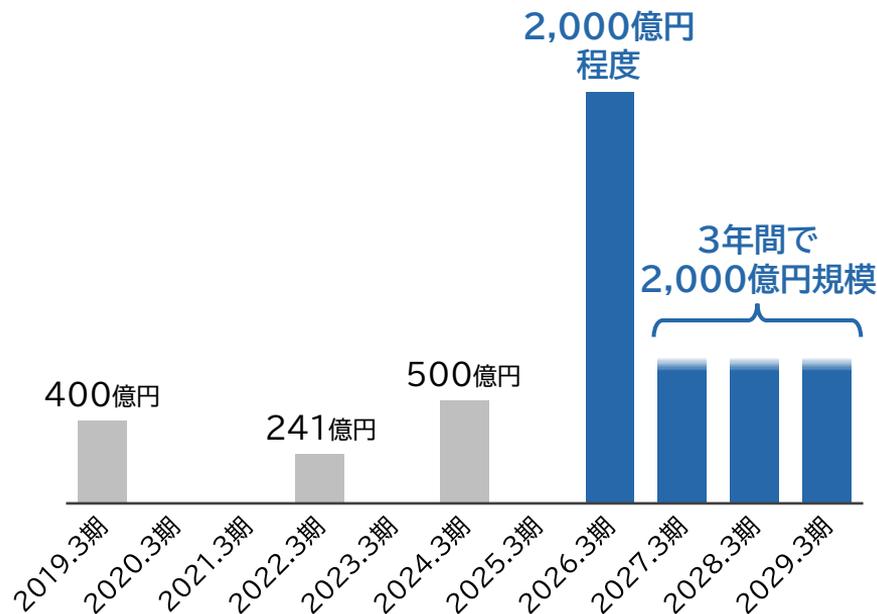
2,000億円程度の自社株買いを計画



2027年3月期～2029年3月期

一定水準の株主還元の継続と、M&A等成長機会への機動的な投資との両立を図るため、3年間で**2,000億円規模の自社株買い**を計画

当社自社株買いの金額推移



取締役任期の短縮

2025年6月開催の第71期定時株主総会にて、取締役任期変更に係る定款変更を決議予定

取締役の任期を現状の**2年**から**1年**に短縮

なお、先述の事業戦略及び資本戦略を迅速かつ着実に実行するため、新たに経営改革担当役員を選任の予定です。

その他の経営課題

改革を最優先として着実に実行するとともに、将来に向けたビジョンを明確化するために以下の経営課題検討についても並行して着手

- ◆ 株式報酬比率を高め、より株価に連動した制度の導入
- ◆ 成長軌道回帰に向けた事業戦略・財務規律の立案 など

決定次第、今後の四半期毎の決算発表等で適宜公表予定

本日ご説明しました事業戦略及び資本戦略について、まず来期2026年3月期には以下の取り組みを着実に実行いたします。

2026年3月期の主な取り組み

事業戦略

- **課題事業の黒字化**
有機パッケージ事業の戦略見直しとKAVXグループの生産体制最適化
- **ポートフォリオ再編に向けた事業と研究開発の見直し**
※ 進捗状況を今後の四半期毎の決算発表等で適宜公表いたします

資本戦略

- **KDDI株式の売却実施**
2年間で5,000億円規模の売却を計画（来期はその初年度）
- **自社株買いの実施**
来期には2,000億円程度の自社株買いを計画

なお、2026年3月期の業績予想については、4月末予定の通期決算発表でご報告予定です。

【ご参考】

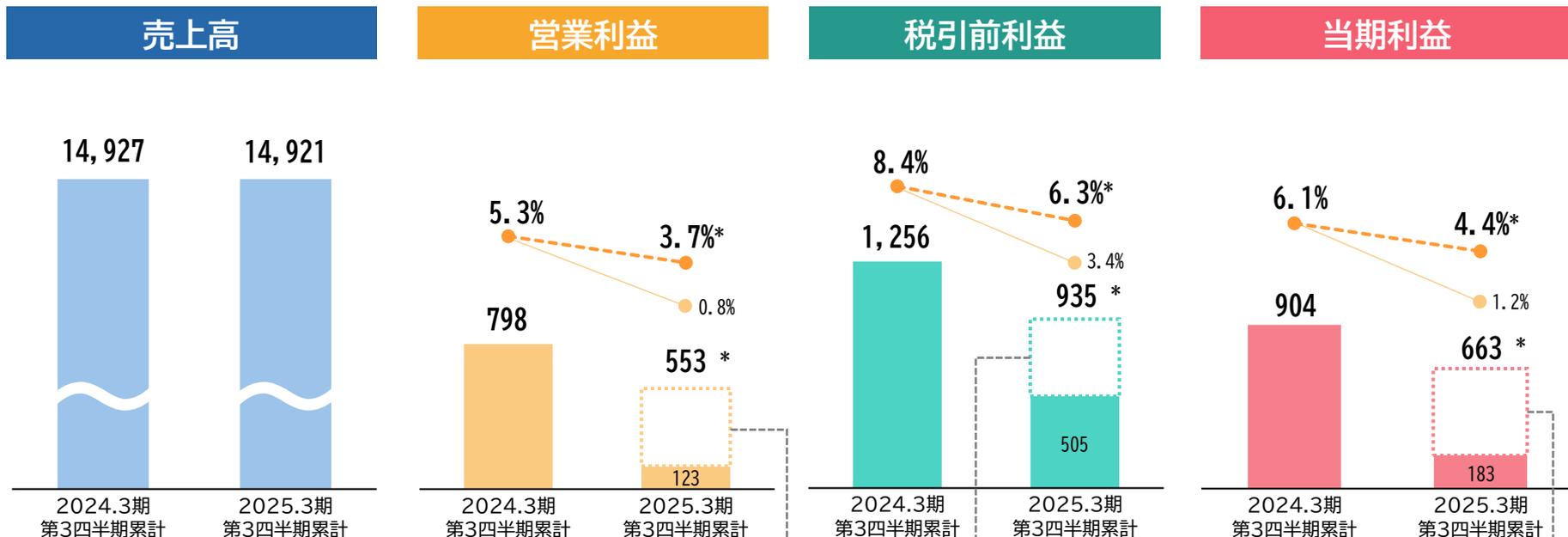
P. 26 2025年3月期 3Q累計(9ヶ月) 一時損失を除いた場合の業績

P. 27～P. 30 2024年3月期 1Q～2025年3月期 3Q 四半期業績推移

2025年3月期 3Q累計(9ヶ月) 一時損失を除いた場合の業績



● 利益率 □ 一時損失 * 一時損失を除いた場合 (単位:億円)

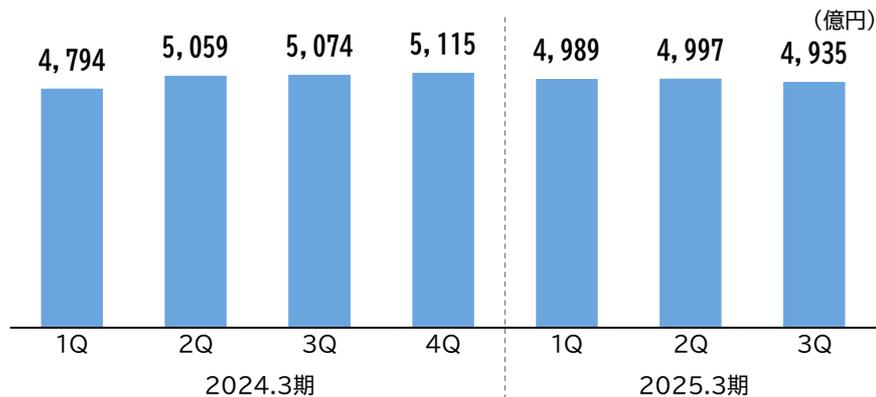


減損損失等 約430億円

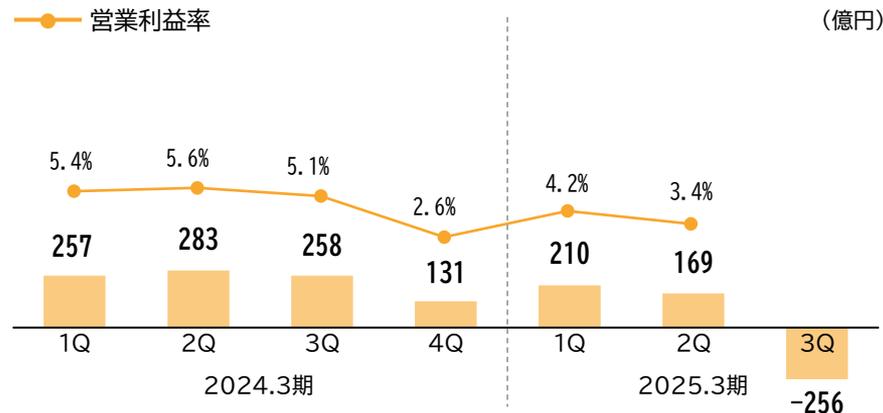
減損損失等 約300億円
繰延税金資産取崩し等 約180億円
計 約480億円

注:各利益率は百万円単位で算出

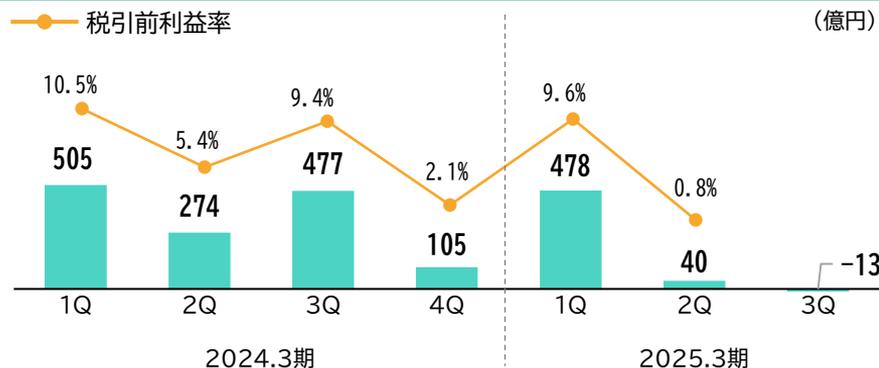
売上高



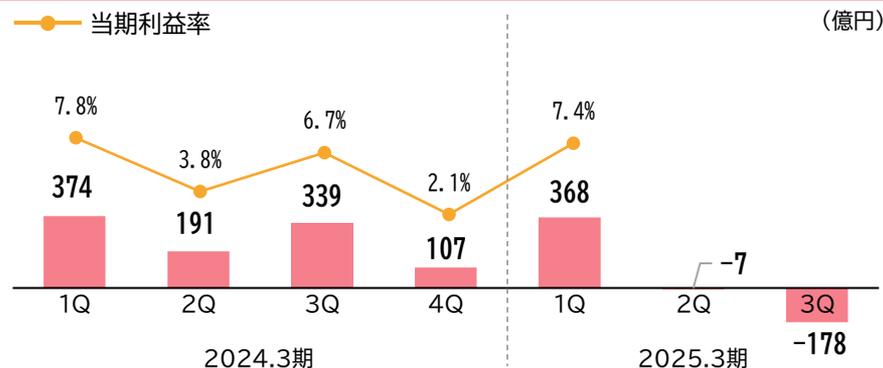
営業利益



税引前利益

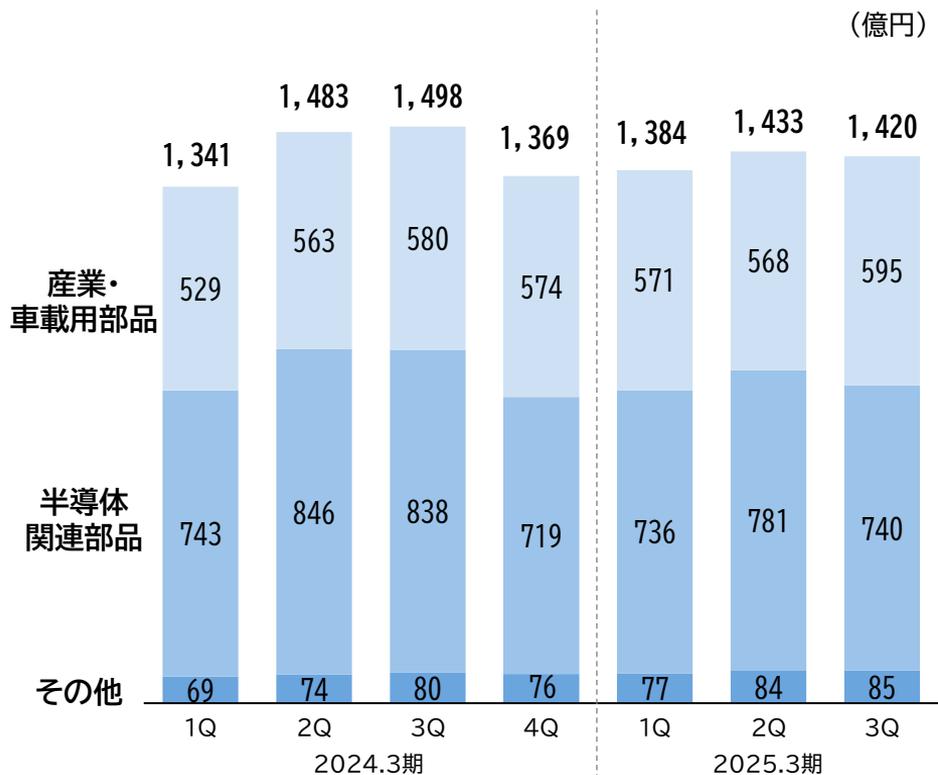


当期利益

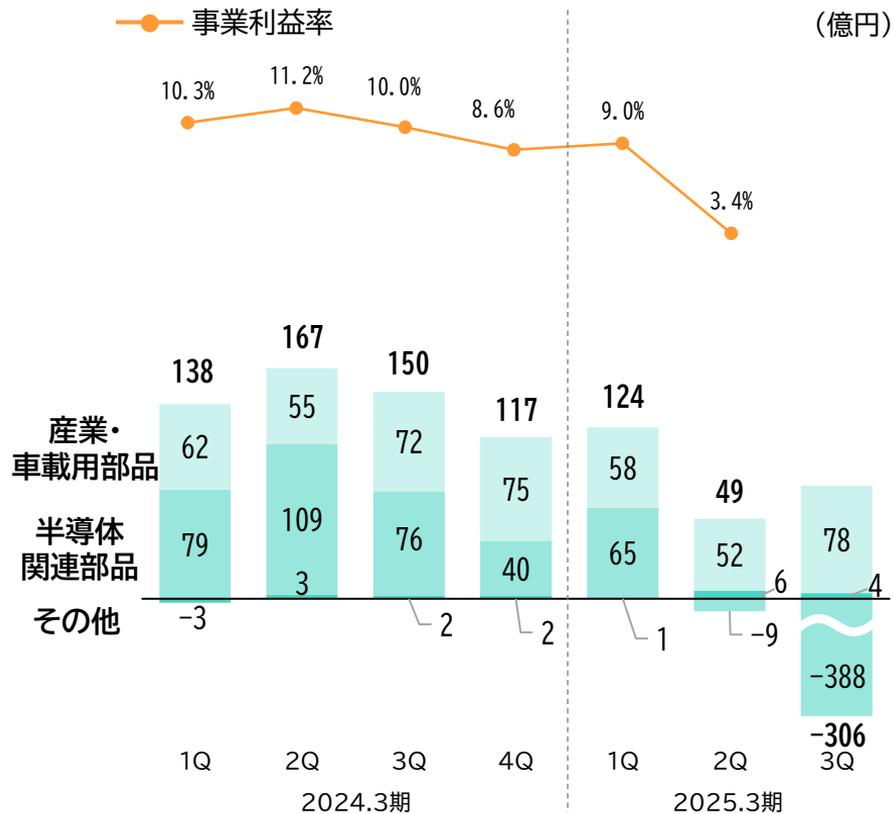


注:各利益率は百万円単位で算出

売上高



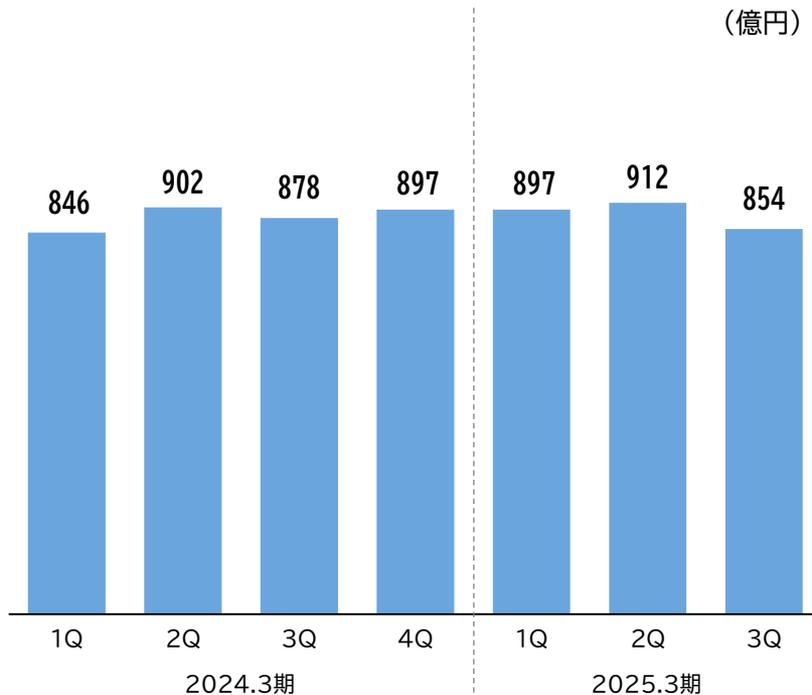
事業利益



注:事業利益率は百万円単位で算出

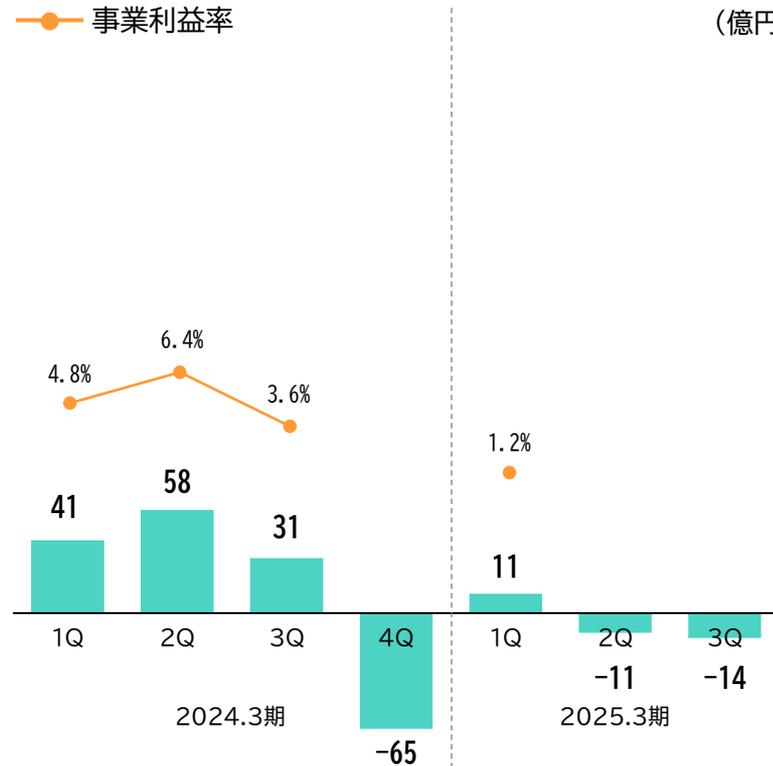
売上高

(億円)



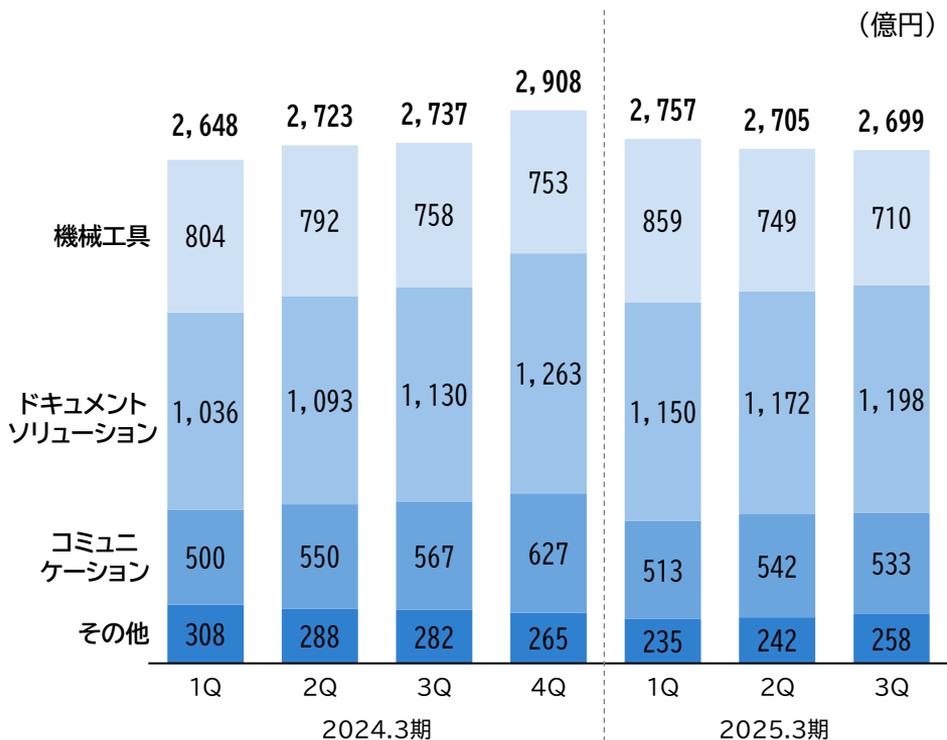
事業利益

(億円)

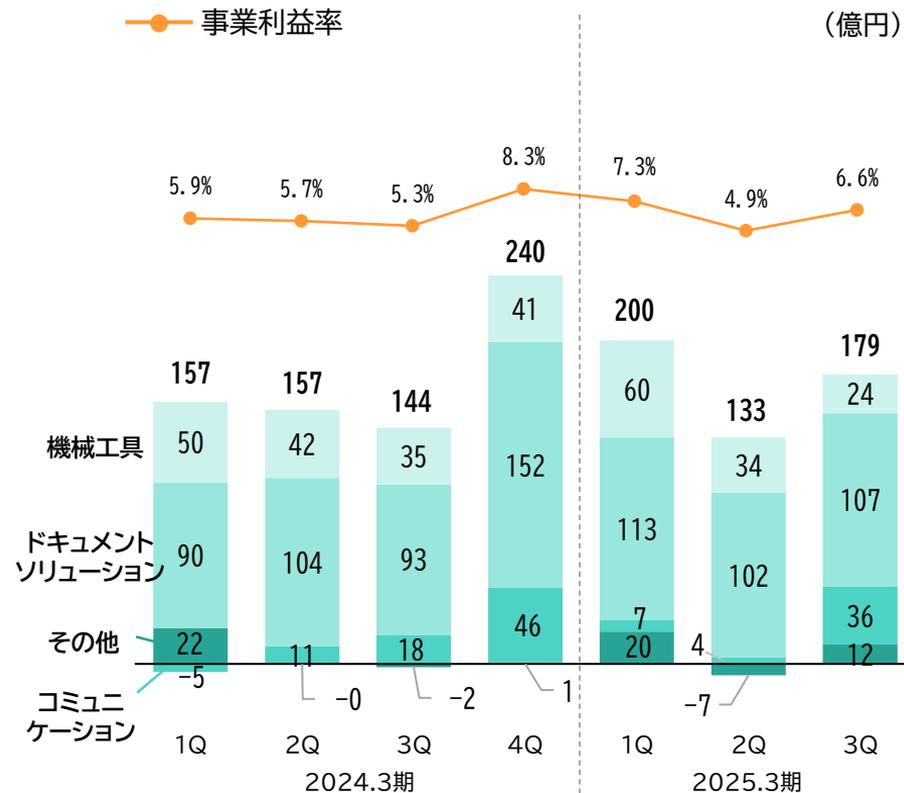


注:事業利益率は百万円単位で算出

売上高



事業利益



注:事業利益率は百万円単位で算出

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。



京セラ株式会社